第６学年 外国語科学習指導案

令和３年２月５日（金）　第６校時

第６学年　１組３８名

２組３９名

指導者　境澤雅公

　　　武田悠

（１）単元名

「I want to be a vet.（なりたいものは，何？）」

（２）単元の目標

〇将来つきたい職業と、その理由を伝え合う。

〇イラストを見ながらまとまった英語を聞いて、概要を捉える。

〇音声を聞き、イラストを頼りに英語を読む。

〇つきたい職業を、見本を参考に書き写す。

評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・将来つきたい職業について伝える語句や表現の意味や働きについて理解している。  ・将来つきたい職業について、したいことやできることを伝える語句や表現を用いて、自分の夢を伝えたり、伝え合ったりする技能を身に付けている。  ・将来つきたい職業を、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて書く技能を身に付けている。 | ・互いの夢を知り、卒業してからも互いに応援し支え合うために、将来つきたい職業について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、何がしたいか、どんなことができるかなど、自分の夢を伝えたり、伝え合ったりしている。  ・自分や相手のこと、身の回りのものに関する事柄について書かれた聞いたことのある簡単な語句や基本的な表現を見て、イラストや音声を頼りにその意味を捉えている。  ・互いの夢を知り合ったり、現在の自分を伝えたりするために、将来つきたい職業を、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。 | * 互いの夢を知り、卒業してからも互いに応援し支え合うために、将来つきたい職業について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、何がしたいか、どんなことができるかなど、自分の夢を伝えたり、伝え合ったりしようとしている。 * 自分や相手のこと、身の回りのものに関する事柄について書かれた聞いたことのある簡単な語句や基本的な表現を見て、イラストや音声を頼りにその意味を捉えようとしている。 * 互いの夢を知り合ったり、現在の自分を伝えたりするために、将来つきたい職業を、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて書こうとしている。 |

（３）本単元の学習と６年生の児童

　　本単元は、６年生３学期の配当である。卒業を控えている時期であることから、キャリア教育との関連で、自分たちの未来に思いをめぐらせ、将来の姿として思い描いた事柄を伝えることを単元のねらいとした。児童の中には、まだ将来なりたい職業が決まっていない者もいることが予想される。夢を語る機会を設けることで、普段考えたことのない将来のことについて考えるきっかけにして、夢に向かって努力し、夢を実現していく児童を育てたいと考える。

　　６月に本学級の児童を対象に行った英語についてのアンケートでは、「外国語の学習が好きか」「友だちや先生（ALT）などと、あいさつしたり会話したりするのは、楽しいか」という質問に対して、概ね肯定的な回答が多かったのに対して、「英語を使ってみんなの前で発表するのは得意か。」という質問に対しては、肯定的な回答が７名であり、児童の自信の無さが顕著に表れていた。

そこで、発表に対する抵抗感を無くし、児童に外国語の学習に自信をもたせるために、主に次の３つのことに取り組んだ。

１点目は、１時間の授業の中に必ず発表の機会を設定したことである。自信をもたせるには、何よりも繰り返し練習することが重要である。また、発表の仕方も、ペアで行ったり、班で行ったりするなど、形態を工夫することで、児童が安心して取り組めるように毎時間配慮した。

２点目は、児童が「考えたい、取り組みたい」と思うような教材開発である。「It was ～」「It is～」の違いを学ぶ際には、間違い探しを取り入れた。「before」と「after」の違いを伝えようと、児童は積極的に英語を駆使して伝えていた。答えたいという意欲を喚起する教材が、児童の主体的な学びにつながっていた。

３点目は、朝の会の英語当番の取組である。学習した英語を使って、当番に「３ヒントクイズ」を出題させた。学習したことを学級全体で深めるとともに、発表に対する抵抗感を軽減させることをねらった。

その結果、２学期のアンケート調査では、「英語を使ってみんなの前で発表するのは得意か。」という質問に対して、肯定的に答える児童が２０人以上にまで増えるだけでなく、その他の２つの質問でも肯定的に答える児童の割合が向上するなど、外国語の学習を楽しみながら、互いの考えを認め、進んで伝え合う態度が育ってきている。

一方で、まだまだ個人で発表することに対しては、苦手に感じる児童も多い。そこで、本単元後のまとめでは、「自分の夢ＣＭを作ろう」という活動をすることを児童に予告する。自分の将来の夢について、１５秒ほどで紹介するＣＭ動画を作成するという活動を見通して、楽しみながら発表の計画を立てられるようにして、児童の学習への意欲を高めていきたい。

（４）本単元における研究主題に迫る手だて

①積極的にコミュニケーションを図るための手だて

a.「自分の夢ＣＭ作り」という目的意識をもたせた活動

自分の将来の夢について、１５秒ほどで紹介するＣＭ動画を作成するというゴールを設定することで、児童が目的意識をもって、主体的に学習に取り組めるようにした。必ず一人一人に出番があるので、活動に必然性が生まれ、ＣＭの中で述べる英語のセンテンスや場面の演出などについての話し合いが一層活発になり、積極的なコミュニケーションを図ることができると考えた。

b.活動内容や学習形態の工夫

クイズやゲームなどの活動内容や、個別活動やペア活動、グループ活動などの活動形態を工夫する。特に本単元のキーセンテンスである「I want to be ～」の表現に親しむために、単元の中で「秋葉台小の先生　子どもの頃の夢クイズ」を行う。事前に班で決めた先生に子どもの頃の夢についてインタビューを行う計画を立てて、取材したことをもとに、３ヒントクイズを考え、授業で出題する。クイズを出し合う児童同士だけでなく、学校中の先生とも交流が図られ、卒業前に小学校とのつながりを深めることで、活発なコミュニケーションが生まれると考えた。

②外国語に慣れ親しむための手だて

a.インタビューゲームの活用

インタビューゲームを通して、本単元で扱う基本的な表現や語彙を楽しみながら繰り返し扱い、慣れ親しませる。「なりたい職業ランキング」をクラスごとに作成し、できあがったランキングをクイズにしてクラスの交流をさせることで、児童の意欲を喚起していく。

b.歌の活用

年間を通して外国語の授業の冒頭で歌唱する曲を、児童と話し合いながら決めてきた。児童が「歌いたい」と思う曲を導入で歌うことで、授業が活気づき、その後の活動にも意欲的に取り組むようになっている。選曲の際には、児童にとって歌いやすいテンポかどうか、既習のワードやセンテンスがあるかどうかなども加味しながら選ぶようにした。

c.スパイラルに学習を行う工夫

語彙を定着させるために、機械的な繰り返しではなく、同じ項目を全体の学習指導計画を通して繰り返し取り上げる。

　　２回：教師が発音→児童が繰り返す→教師が再度発音→児童が再度繰り返す

　　１回：教師が発音→児童が繰り返す

　　０回：教師はフラッシュカードの操作のみを行い、児童がそのカードに合わせて発音する

③評価の工夫

a.行動観察

意欲的に英語を使おうとする態度や姿勢、ジェスチャーや表情などを使い自分の気持ちを進んで伝えようとしている点を評価する。また、単元の中で児童一人一人の発表の場を設定することで、学習に対する評価を確かに行っていく。

b.リフレクションシートの活用

これまで歌ってきた歌の歌詞カードや学習で使用したアクティビティシート、リフレクションシートは、ファイリングされた１冊の冊子になっており、児童はいつでも既習の内容を振り返ることができるようになっている。本単元においても、リフレクションシートを活用し、児童の意欲的な態度や姿勢を見取ったり、本時の気付きをまとめたりすることで、評価をする。

（５）学習計画と評価計画［全６時間扱い／２組：２時間目　１組：３時間目］

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習活動　《新出の表現》 | 評価規準【評価方法】 |
| １ | ５年生で学んだ職業の英語での言い方を思い出し、職業や様子を伝える語句や表現に気付き、理解して使う。  《What do you want to be?/I want to be a/an 〇〇. 》 | ・新出の単語や文について知り、意欲的に学習することができる。【行動観察・教科書】 |
| ２  本時  ２組 | ・自分のなりたい職業を伝える語句や表現に気付き、理解して、相手に伝える。  ・インタビューゲームを通して、クラスの「なりたい職業ランキング」を作成する。 | ・前時で学習したことを基に、友だちと会話をすることができる。【行動観察・ワークシート】 |
| ３  本時  1組 | ・自分のなりたい職業に続けて、その理由を伝える語句や表現に気付き、理解して、相手に伝える。  ・「秋葉台小の先生　子どもの頃の夢」インタビューの計画を立てる。 | ・これまでに学習したことを基に、友だちと会話をすることができる。【行動観察・ワークシート】 |
| ４ | ・「秋葉台小の先生　子どもの頃の夢」クイズを行う。  ・自分のなりたい職業とその理由に続けて、その職業についたらしたいことや夢に向かって取り組むことを伝える語句や表現に気づき、理解して、相手に伝える。  《What do you want to do for your dream?/I will 〇〇.》 | ・これまでに学習したことを基に、友だちと会話をすることができる。【行動観察・ワークシート】 |
| ５ | 将来の夢について、スピーチ原稿を書く。 | ・これまでに学習した単語やセンテンスを用いて、発表原稿を作ることができる。【行動観察・ワークシート】 |
| ６ | 将来の夢について、ミニスピーチを行う。 | ・自分のなりたい職業とその理由、その職業についたらしたいことや夢に向かって取り組むことについて、これまでに学習した単語やセンテンスを用いて、発表することができる。【行動観察】 |

（６）本時の展開（２／６時）

①本時の目標

自分のなりたい職業を相手に伝えることができる。

②本時にめざす児童の姿とそのための具体的な手だて

　　・インタビューゲームを行うことで、児童が意欲的にコミュニケーションをとることができるように設定した。

③本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 過程 | 〇学習活動 | ・指導上の留意点  ☆評価  【】評価方法  ●手だて |
| Greeting  (２分) | 〇教師と児童でグリーティングをする。  T: Hello.  C: Hello.  T: How are you?  C: I’m　fine, and you?  T: I’m happy.  How’s the weather?  C: It’s sunny.  T: What day is it?  C: It’s Thursday.  T: What’s the date today?  C: February 5th.  T：How do you spell “February”?  C: F-e-b-r-u-a-r-y!  T: Good. | ・問いの流れを形式化し、安心して学習に取り組むことができるようにする。  ・スペルの確認は必ず行い、書く時の手助けになるようにする。 |
| Singing  （５分） | T：O.K! Let’s sing our song  “「Whatever」 ”. Everyone stand up!  〇「Whatever」を歌う。 | ●手だて②b  ・歌詞カードを見ながら、自信をもって歌えるように励ます。 |
| Small talk  （１分） | 〇グリーティングシートを使って隣りの友だちと１分間会話をする。 | ●手だて①b  ・Small Talkのやり取りの回数を見える化することで、前回よりもやり取りが活発になるように促す。 |
| Review①（word）  （３分） | ・前時に学習した単語を練習する。  (astronaut, baker, cook, doctor, illustrator,  musician, nurse, office worker,  police officer, reporter, vet, zookeeper） | ●手だて②c  ・１回（T発音C繰り返し×１）→０回（Cのみ発音）の方法で発音練習をする。 |
| New word  （５分） | ○新出の単語をクイズで練習する。  （singer, comedian, banker, barber, pilot,  bus driver, voice actor, cartoonist,  teacher, dentist） | ●手だて②c  ・２回（T発音C繰り返し×２）→１回（T発音C繰り返し×１）→０回（Cのみ発音）の方法で発音練習をする。 |
| Review②（sentence）  （２分） | ○前時に学習したセンテンスを練習する。  ・What do you want to be?  ・I want to be a/an 〇〇. | ●手だて②c  ・１回（T発音C繰り返し×１）→０回（Cのみ発音）の方法で発音練習をする。 |
| Key  sentence  （５分） | T: Let’s listen teacher’s talk.  ・担任の幼い頃の夢を語る。  ・何人かの児童に将来の夢について尋ねる。  Today’s goal: 将来なりたい職業について伝えよう。  「What do you want to be?/ I want to be a/an 〇〇. 」 |  |
| Activity  （７分） | 〇アクティビティシートを配付し、なりたい職業を尋ねたり、答えたりする。活動の最後に集計をとり、クラスの「なりたい職業ランキング」を作成する。  T:Let’s interview your friends and take a　note what your friends want to be. And Let’s make our ranking.  A: Hello.  B: Hello.  A: What do you want to be?  B: I want to be a vet. How about you.  A: I want to be a teacher.  B: Nice! | ●手だて②a  ・教師と児童のボランティアで発表のモデルを示す。  ・５分間と時間を設定し、児童が意欲的に活動できるようにする。  ☆【行動観察・アクティビティシート】 |
| Writing  （３分） | 〇ワークシートに「I want to be」を使って英文を書く。 | ・ワークシートに例を書いておく。  ☆【行動観察・アクティビティシート】 |
| Today’s review  (２分) | 〇学習したセンテンスについて復習を行う。 |  |
| Reflection  （２分） | ○授業の振り返りを書く。 | ●手だて③b |

（７）その他　●資料【アクティビティシート】

２／５（Fri.）　6年生　外国語アクティビティシート

Class Number Name

What do you want to be?

①　クラスの友だちに、将来の夢をたずね合い、人数を記録していこう。

|  |  |
| --- | --- |
| 職業 | 【記録用】例：正 **（＝５人）** |
| astronaut（宇宙飛行士） |  |
| baker（パン屋） |  |
| cook（料理人） |  |
| doctor（医者） |  |
| illustrator（イラストレーター） |  |
| musician（ミュージシャン） |  |
| nurse（看護師） |  |
| officeworker（会社員） |  |
| policeofficer（警察官） |  |
| reporter（レポーター） |  |
| vet（獣医） |  |
| zookeeper（飼育員） |  |
| singer（歌手） |  |
| comedian（お笑い芸人） |  |
| banker（銀行員） |  |
| barber（床屋） |  |
| pilot（パイロット） |  |
| bus driver（バスの運転手） |  |
| voice actor（声優） |  |
| cartoonist（漫画家） |  |
| teacher（教師） |  |
| dentist（歯医者） |  |
| pastry chef（お菓子作り職人） |  |

その他

②　あなたの将来の夢を書いてみよう。

What do you want to be?



I want to be a

（６）本時の展開（３／６時）

①本時の目標

自分のなりたい職業を相手に伝えることができる。

②本時にめざす児童の姿とそのための具体的な手だて

　・インタビューゲームを行うことで、児童が意欲的にコミュニケーションをとることができるように設定した。

③本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 過程 | 〇学習活動（活動形態） | ・指導上の留意点  ☆評価  【】評価方法  ●手だて |
| Greeting  (２分) | 〇教師と児童でグリーティングをする。  T: Hello.  C: Hello.  T: How are you?  C: I’m　fine, and you?  T: I’m happy.  How’s the weather?  C: It’s sunny.  T: What day is it?  C: It’s Thursday.  T: What’s the date today?  C: February 5th.  T：How do you spell “February”?  C: F-e-b-r-u-a-r-y!  T: Good.） | ●手だて①b  ・問いの流れを形式化し、安心して学習に取り組むことができるようにする。  ・スペルの確認は必ず行い、書く時の手助けになるようにする。 |
| Singing  （５分） | T：O.K! Let’s sing our song  “「Whatever」 ”. Everyone stand up!  〇「Whatever」を歌う。 | ●手だて②b |
| Small talk  （１分） | 〇グリーティングシートを使って隣りの友だちと１分間会話をする。 | ・発表を聞いている子はよかったことと改善点を伝えるように促す。 |
| Review①（word）  （３分） | 〇前時に学習した単語を練習する。  （singer, comedian, banker, barber, pilot,  bus driver, voice actor, cartoonist,  teacher, dentist） | ●手だて②c  ・１回（T発音C繰り返し×１）→０回（Cのみ発音）の方法で発音練習をする。 |
| New word  （５分） | ○新出の単語をクイズで練習する。  （build, help, people, kindergarten teacher,  Go into～, restaurant,） | ●手だて②c  ・２回（T発音C繰り返し×２）→１回（T発音C繰り返し×１）→０回（Cのみ発音）の方法で発音練習をする。 |
| Review②（sentence）  （２分） | ○前時に学習したセンテンスを練習する。  ・What do you want to be?  ・I want to be a/an 〇〇. | ●手だて②c  ・１回（T発音C繰り返し×１）→０回（Cのみ発音）の方法で発音練習をする。 |
| Key  sentence  （５分） | T: Let’s listen teacher’s talk.  ・担任の幼い頃の夢を語る。  ・何人かの児童に将来の夢について尋ねる。  Today’s goal: 将来なりたい職業について伝えよう。  「What do you want to be?/ I want to be a/an 〇〇.Because ●●。 」 |  |
| Activity  （７分） | 〇アクティビティシートを配付し、なりたい職業やなりたかった理由を尋ねたり、答えたりする。  （例）  A: What do you want to be?  B: I want to be a childminder.  A: Why?  B: Because I like children.  A: Anything else?  B: I like talking care of children. | ●手だて①a②a③a  ・教師と児童のボランティアで発表のモデルを示す。  ・５分間と時間を設定し、児童が意欲的に活動できるようにする。  ☆ア①、ウ①【行動観察・ワークシート】 |
| Writing  （３分） | 〇ワークシートに「I want to be」を使って英文を書く。 | ・ワークシートに例を書いておく。 |
| Today’s review  (２分) | 〇学習したセンテンスについて復習を行う。 | ・既習事項の定着を図る。 |
| Reflection  （２分） | ○授業の振り返りを書く。 | ●手だて③b |